

平成十四年九月十五日発行
明倫自治連合会広報委員会
発行部数 1400部

号 2
02.9.15

明倫

題字：横村正直

歩いて暮らせばまちがいつまで

「まちなかを歩く日」近づいて！

今年で二年目となる「まちなかを歩く日」の多彩なイベントが、明倫学区をはじめとする中京区の八学区で、十一月十五日（金）から十七日（日）の三日間実施されます。皆様方の協力、ご参加をお待ちしています。

まちづくり委員会 井上成哉

「まちなかを歩く日」って何？

「まちなかを歩く日」とは、中京区の八学区の住民や事業者、市民グループなどが市の支援を受けて進めている「まちづくり」の一環として実施しています。今年で三年目を迎えます。

今年度より明倫まちづくり委員会の正式な取り組みとなり、今や明倫自治連合会の主要行事として定着しつつあります。



・軒に提げられた「まちなかを歩く日」の暖簾と、電柱の幟（昨年の三条通）

今年の明倫学区では、京都芸術センターとの共催により、センターを中心につぎのような各種イベントが催されます。

◆ 町家の公開

今年天神山町会所、鯉山町会所、大西美術館 紫織庵、無名舎（吉田家）、小島家（百足屋町）を対象としたグループツアー（有料）を予定。

各町家や芸術センターでは、高倉小学校の子どもたちに、総合学習の一環として「お花」を生けてもらいます。

○ 実施日時

十一月十六日（土）、十七日（日）
午前十一時～午後四時

◆ きもの・むろまち・町家の文化・茶会

場所 芸術センター3階大広間

「呉服のまち明倫」を再発見・再認識するため、呉服、生活用具、人形など、明治・大正・昭和と各家に大切に受け継がれてきた品々を展示します。

また、そういった品々に囲まれながらのお茶席（有料）を設けます。水屋、お運び（男性の方々にお願いします）、すべて明倫学区の人々によって催されます。

展示品にご提供者のお名前は出せませんが、是非皆様方のご協力を得たいとおもいますので、よろしくお願ひします。

○ 実施日時

十一月十六日（土）、十七日（日）
午前十一時～午後四時

◆ 明倫婦人会コーラス・大日社中の和楽器演奏・京都産業大学グリークラブ・アンサンブル「風」女性コーラス

場所 芸術センター講堂



・婦人会によるコーラス（昨年）

実施日時

十一月十六日（土）、
午前十二時～午後二時

婦人会コーラス「倫の会」

素敵な石原先生との出会いがあり、平成十一年六月より月二回、楽しく練習しています。
先生は「日本語のこまやかな感情の美しさを、聞いてくださる方たちにその感動が伝われば最高」とご指導くださいます。
皆様是非芸術センターまでお出掛けください。



指揮者 石原祐介先生のプロフィール

2000年 京都市立芸術大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業
音楽学部賞受賞
2002年 第21回飯塚新人音楽コンクール第2位
声楽を灘井誠、山口はやとの各氏に、指揮を吉村信良氏に師事。現在、京都産業大学グリーン倶楽部のトレーナー兼指揮者、アンサンブル「風」指揮者、「倫の会」指揮者。

◆パフォーマンス「ヒトオリ」

白布を使って、明倫学区の家々から、芸術センター運動場までを結ぶアートインスタレーション。

京都の芸術系大学生の皆さんによるアートパフォーマンスで室町通りを

お近くの皆様は是非「協力を！」

彩ります。

◆室町・明倫「蚤の市」

室町通りを中心に繰り広げられるフリーマーケット。京都近郊の朝採り野菜、手作り作品、道具市、趣味の品々などが出店されます。

皆様方も是非ご出店ください。

なお、京野菜はすぐに売りきれまので、お早にお越し下さい。

○実施日時

十一月十六日(土)、十七日(日)

多彩なイベントの数々！

午前十時～午後四時

◆今年も、京都織物卸商業組合

も同時に産業会館を中心に記念イベントを催されます。

着物、スポーツの発行(様々な特典を用意)、着物のレンタル(有料)や着付け(無料)など。

秋の一日、着物でゆつくりとまちなかを散策してみてください。

三条通を考えよう

なんとも気さくな名前の会ですが、三条通の新町・堀川間に住む住民有志と、商店街(三専会)、京都工芸繊維大学のNPO組織とが協力して平成十二年に発足しました。

「もてなしオーライ往来!三条通」

をキヤッチフレーズに、三条通の活性化、バリアフリーに対応するまちづくり、新町までで止まっている道路・街灯の整備運動などに取り組んでいます。最初の年は、西洞院通から西だけで活動し、まちなかを歩く日のイベントとして「電動セニアカー」について調査アンケートを実施しました。



・電動セニアカー

二年目からは明倫学区の釜座町が参加し、三条通に対する要望、期待のアンケート調査を実施しました。

また、祇園祭後祭の活性化のため、無料浴衣着付け、浴衣写真コンテスト、三条通での花火リレーなどを行いました。

第二回目のまちなかを歩く日(昨年)には、商店と京都工芸繊維大学の学生とのコラボレートで三条通に様々な形の椅子を設置し、自由に座っても

らう企画を行いました。

本年度は、三条通の各家の表を描いたTシャツを作ったほか、通りの椅子をテーマにしたフォトコンテストを行いました。

三条通は、歴史的に見ても非常に重要な通りで、明倫だけでなく多くの学区が面しており、元学区を越えて再生に協力していくところにこの会の存在意義が在るように思います。

事務局 岡田

TEL (二二二) 一八〇七

・三条通を考えよう会ホームページ
<http://mpo21.or.jp/aa/sanjio-dori/rume.html>

祭り子ども

骨屋町

雨の巡行となった今年の祇園祭、骨屋町(浄妙山)では、高倉小学校の総合的学習の取り組みを初めて受け入れました。

この様子を見ながら、加藤成一氏(骨屋町居住)に、自分の子ども時代を振り返ったの感慨を話していただきました。

「私が小学生のころ、町内には沢山の子どもがおり、山が建つと待ちきれずに山に登り、塚(山の囲い)の上を走り回り、鬼こっこなどして遊んだ。

その子どもがいまや五十歳近くになった。今の子どものような山での遊びを知らない。

と言うのもこの町には、六年ほど前まで子供が居なかった。数年前から少しづつ増えてきたが、山で遊んだ経験のある親がほとんどいない。



・祇園祭の「売店」

その上、今は交通事情が悪化し、また親の考え方、育て方も変わり、子どもが山で思い切り遊べる環境にない。子どもたちに祭りでの遊びを伝えて行くには、経験した我々が工夫をして行かねばならない。そうでないと、将来の浄妙山保存会の存続も難しくなるような気がする。」

子供神輿だワツシヨイ・ワツシヨイ!

毎年、祇園祭の後祭り(二十四日)として行われる「花傘巡行」の中に子供神輿の列があるのをご存知ですか?
明倫、本能、龍池、城巽、日彰、生祥、立誠の七学区の小学生たちが応募し、三基のお神輿を担いで巡行するマコトにかわいらしいお祭です。

子供の数は年々減少していますが、七学区も集まれば七十人ほどになりま(ちなみに明倫学区からは六人が参加しています)。

男の子も女の子も八坂神社のハッピを着て、午前八時に堀川高校前に集まり、世話人と保護者も一緒にバスで八坂神社に行きます。

まず、八坂神社の先祓いに続いて、四条通を西にワツシヨイ、ワツシヨイ、元気良く進みます。

途中、数カ所でお茶組合さんからお茶の差し入れをもらい、御度所の前で一礼して最後のハイライトは祇園石段下での神輿担ぎです。



・祇園石段下でワツシヨイ

最後の力を振り絞って皆で神輿を持ち上げ、一周回って八坂神社の裏参道から本殿前に帰り着き、全員で本殿に一礼して終了です。

後は徒歩で高倉小学校に戻り、お弁当を食べ「ご苦労さん!」

どうです、来年はうちの子も是非参加させようと思いませんか。

(衣棚町 巻出まで)

このコーナーでは、二十七町ある明倫学区の各町内を紹介していきます。

第一回 釜座町

明倫学区で最北西のこの町は、名前が示すとおり、平安時代に釜師(鑄物師)が集まって座(協同組合)を構えていた所からきています。

昔(江戸時代)は、祇園祭には東隣の衣棚町と共同で「鷹山」を所蔵しており、西洞院通には西洞院川が流れていたそう、そのことから染色業、酒造業、鑄造業が発達したことなどが釜座町の葉に書かれています。

現在も大西家、高木家とその流れを継承しており、大西家の美術館には初代よりの茶釜や、設計図、それぞれの時代の茶人との手紙などの資料が展示されています。

釜座町では、町内に八階建てのテナントビルの建設予定が持ち上がったのを機に、平成三年より建築協定(高さ20m以下、六階建てまで、ワンルームマンション・風俗営業の禁止等々)を結び、町内の景観保全と健全な生活を守るために町民が一致団結してきました。

昨年、建築協定は2度目の更新(五年毎)を迎え、世相の移り変わり、また建築協定の持つ有効性に限界が続出しその意義が問われてきています。

そもそも隣人同士の約束事から広がって結ばれる協定であり、個々人の繋がりの中におのずと生まれてくるお互いの生活を保障し合うという理想的協定の意義をもう一度考えねばならない時期に至っています。

現在、人口は十八世帯五十四人とマンション三棟二十九世帯(平成十四年八月現在、店舗十六という構成です。一月には新年会、四月は総会、八月地蔵盆、十一月釜屋の法事が釜座町の主な行事です。



平安・八坂婦人会からお知らせと御報告

祇園祭の花傘行列に引続き、八月七日の七夕祭りもにぎやかに行われ、親御さんの出席もあり、区内二十四学区の小学生の絵や、人形劇等の催しも楽しく過ごしました。

今年の八坂婦人会総会が、九月二十五日となりました。八坂婦人会では米寿、傘寿の方々の名簿を作成しておりますので、協力をお願いします。

平安婦人会では、十月二十二日の時代祭りの当日は、平安神宮で着付けを手伝っております。

十一月五、六日は北陸方面に旅行を予定しています。年末にはおけら木を宜しくお願いします。

木村十重子

交流和やかな ふれあいいきいきサロン

民生児童委員会から

敬老乗車証の配布を七十歳以上の方々のお宅に交換に伺います(九月上旬中旬予定)。その際には民生委員の身分証明書を提示いたします。



・みんなでスイカ割り

す。

また、学区内の七名の方へは八十八歳(米寿)のお祝品を、京都市から民生委員を通じてお届けいたします。

毎月の「ふれあいいきいきサロン」は参加者も増え、前々回は交通ルールやゲーム等をし、七十歳以上の方々と小学生との交流も和やかでした。

八月十日(土)の会では、スイカ割り大会があり、一生懸命スイカに向かってとても盛り上がりました。

その後「ハリーポッター」を上映し、五十名近くの参加者が大きな画面と迫力のある音声とで夏の暑い中を過ごして頂きました。

八田典子

時代祭のお知らせ

祇園祭には学区を挙げてご協力を頂き御礼申し上げます。

十月二十二日には平安神宮の時代祭りが執行されます。京都千二百年のロマンを語る美しい歴史絵巻です。

明倫学区は鎌倉時代の流鏝馬列を担当し、自治連合会の行事として本年は大将を出します(二年に一度)。

今年には三条超の川崎栄一郎氏が選ばれて参加し、秋の京洛を威風堂々闊歩されます。

明倫祭事委員会 中尾

ラジオ体操のご報告と「中京ふれあい祭」のお知らせ

少年補導委員会、体育振興会

夏休みの七月二十一日〜八月九日、元明倫小学校グラウンドで朝七時十五分

からラジオ体操を行いました。

毎日子供四十名、大人二十名以上が参加し、最終日には少年補導委員会と体育振興会から皆勤、精勤、参加賞が渡されました。

毎夏催されます。老若男女、健康増進には是非来年も参加しましょう。



十月二十日には「中京ふれあい祭」が朝十時から中京中学で催されます。

色々なイベントや出店があり、中京二十四学区の主任児童委員の店では、子供達に牛乳パックでおもちやをいっしょに作り遊ばします(無料)。

また手づくり無添加のはつたい飴も毎年好評で、がんばって作り販売します。

子供達ぜひあそびに来てください。(詳しくは、百足屋町 北川まで)

◆高倉小学校の予定

- ・ 9/29 (日) 運動会
- ・ 10/ 9 (水) 遠足
- ・ 10/22~23 花背山の家
- ・ 10/20 (日) 中京ふれあい祭
- ・ 11/ 9 (土) 地域ふれあい (社福協)
- ・ 11/10 (日) ウオーキング
- ・ 11/15 (金) 新一年入学説明
- ・ 11/16 (土) 大文字駅伝 (予)
- ・ 12/20 (金) 終業式
- ・ H15. 1/7 (火) 始業式

編集後記

広報誌「明倫」もようやく二号を発行することが出来ました。

明倫学区は歴史のある地区です。京都のど真ん中で、室町を中心事業所がおかれ、夜間人口がゼロの町内もあります。

古くからの町並みに新たにマンションが林立し、人々の交流がどのようになされるのが、全国的にも注目されています。

まだ手探りの状態ですが「明日の明倫学区」を目指して歩み続けなければなりません。

「小さな一歩」ですが、ぜひ皆さま全員が一緒に一歩を踏み出してください。ただければ、「大きな一歩」になるものと確信しています。

井上成哉